

進路を考える

— 一生勉強・一生青春 —

公益社団法人経済同友会 幹事
林 明夫

Q 1 : 好きな言葉は何ですか。

A : (1) 「ブルドッグ魂」(食いついたら離すな)

(2) 「練習で泣いて、試合で笑え」

(3) 「一所懸命」(一つの所で命を懸けるくらい熱心にものごとに取り組む)

(4) 「初心忘るべからず」「離見の見(りけんのけん)」「(世阿弥)

(5) スポーツによって得られる三つの宝、「練習は不可能を可能にする」「フェアプレーの精神」「よき友」(小泉信三)

Q 2 : 現在の仕事・活動は何ですか。

A : (1) 株式会社 開倫塾、代表取締役社長(栃木県、群馬県、茨城県に 65 校舎)

(2) 学校法人 有朋学園 有朋高等学院、理事長(福島市)

(3) 宇都宮大学大学院工学研究科、客員教授

(4) マニー株式会社(手術用縫合針製造)顧問、元社外取締役
(宇都宮、ハノイ、ヤンゴン、ビエンチャン)

(5) 社会福祉法人 両崖福祉会、特別養護老人ホーム清明苑、理事(足利市)

Q 3 : どのような学生時代を送りましたか。大学卒業後、勉強をしましたか。

A : (1) 中学校時代…部活動、生徒会活動

(2) 足利高校時代…読書、予習、受験勉強

(3) 大学時代(慶應義塾大学法学部法律学科)…寮生活、法律学(犯罪学)刑事政策

(4) 慶應義塾大学法学部司法研究所

(5) 世界銀行研究所、ハーバード大学行政大学院国際開発研究所、国立シンガポール大学行政大学院…短期集中コース

(6) 実は社会に出てからが本当の勉強だった

Q 4 : 仕事を通じての実体験をお話し下さい。

A : (1) 学習塾創業の理由

(2) 社外取締役

(3) 大学で教えて

(4) 社会福祉施設

(5) 社会的活動

Q 5 : 生徒の進路選択に関するアドバイスは何ですか。

A : (1) 中学校や高校の勉強は大学、大学院、社会ですべて役に立つ、一生役に立つ

(2) 折角(せっかく)学習した教科書や教材は絶対に捨てないこと。一生涯にわたって学習し続けること

(3) 学生時代に自分なりの学習の仕方を身に付けること…「理解」したことを「定着」させること

(4) 読書により思慮深さを身に付けること—書き抜き読書ノートを一

(5) 新聞を読んで自分で考える力、批判的思考能力を身に付けること—スクラップブックを一

(6) 学力を身に付けるのは人生における選択肢を広げるため—多様な選択肢のある人生を一

Q 6 : これからの社会で女性に期待されることは何ですか。

A : (1) 知識基盤型社会 ———— 知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力を

(2) グローバル化社会 ———— 多様な集団で交流する能力を

(3) 課題山積社会 ———— 自律的に活動する能力を

(4) 超高齢化社会に耐えられる能力を自分の力で身に付けよう

Q 7 : 最後に一言どうぞ。

A : (1) 「自己責任」、「自助努力」、「あきらめたらおしまい」、「自分の未来は自分で切り開く」

(2) 中学校・高校時代の同級生は一生の友人、先生は一生の恩師、友情を育てよう

(3) 健康第一(心の健康、身体の健康)

*御清聴を感謝します。

御質問や御意見がありましたら、御自由に御発言下さい。

以上